

2015年10月19日

報道関係各位

東海大学

## 本学医学部がハワイ大学医学部と教育連携に関する覚書を締結 ～日本初の本格的な米国式医学教育を実践する医学教育機関へ～

東海大学医学部（所在地：神奈川県伊勢原市下糟屋143、学長：山田 清志〔やまだ きよし〕、学部長：今井 裕〔いまい ゆたか〕）では、去る8月にハワイ大学医学部（米国ハワイ州、学部長：Jerris R. Hedges）と「ハワイ医学教育プログラム」（HMEP<sup>i</sup>）の日本への導入の先駆けとして医学教育連携に関する覚書を締結いたしました。

本連携協定締結に基づき、本学医学部に「ハワイ医学教育プログラム」を導入することにより、本学医学部は**日本で初めて本格的な米国式医学教育を実践する医学教育機関**となります。これに伴い、2023年度に施行される米国 ECFMG<sup>ii</sup>（Educational Commission for Foreign Medical Graduates）の認定要件を満たすロールモデルとなり、世界の医学教育や医療のリーダーとして国際的に活躍し得る医師養成の養成を行うことで、日本の医学教育や国際標準化に貢献することが可能となります。

### ■ハワイ大学医学部との教育連携の背景

「日本の医学教育はガラパゴス」元東京大学客員教授 ゴードン・ノエル氏（米国オレゴン健康科学大学教授）が離日する際、日本の医学教育制度の特異性をこう表現したことが、文部科学省の「第5回医学教育カリキュラム検討会」で取り上げられました。この発言に対しては様々な意見がありますが、日本の医学教育がさらに進化するための問題意識を提起することが目的であったと考えられます。

また、世界的な「医学教育の標準化」という流れの中で、2010年9月には ECFMG が認定要件<sup>iii</sup>を発表したことにより、日本における医学教育も「国際基準への適合」を迫られるとともに、内容についてもグローバル・スタンダードを意識した転換が求められています。

### ■プログラム(HMEP)

- ①：ハワイ大学医学部が、米国における臨床研修経験を持つ医師を講師として本学医学部に派遣、1～3年次生を対象に後述のハワイ大学医学教育のゴール達成のためのカンファレンス講義を実施（日英両語）。
- ②：①を受講した学生の中から10～20名程度を選抜し、ハワイ大学医学部における HCCPP<sup>iv</sup>を1～2ヶ月受講する。（本学内で実施する基礎臨床実習として認定）
- ③：②の修了者は、ハワイ大学医学部が準備・提携する日本国内の臨床実習病院において米国式臨床実習を履修する。（本学内で実施する5年次臨床実習として認定）



## ■ハワイ大学医学部について

ハワイ大学は米国ハワイ州の6つの島々に3つの大学キャンパス、7つのコミュニティカレッジキャンパス、その他多くの様々な教育施設を有しています。メインキャンパスであるマノア校は1907年に建校され、18学部200以上の学位プログラムを持ち、学生数約2万人を擁する州立大学です。アジアを含めた環太平洋における多くの人種と文化を包合し、米国の州の中でもユニークで国際的な学術活動を行っています。

医学部は1965年に当時の州知事 John A. Burns 氏によって創設され、John A. Burns School of Medicine (JABSOM) と命名、今年50周年を迎えました。2005年にはマノアキャンパスの他の学部とは離れたカカアコ地区に移転新設され、そこには医学教育棟、研究棟、ハワイがんセンターが併設されています。

ハワイ大学のミッションは、医療・教育・研究機関として、あらゆる人々の健康向上、質が高くかつ思いやりのある医療、医療界のリーダーとなり得る教育、先駆的で多種多様な研究、様々な医療従事者・医療機関との連携、アジア環太平洋における医療と教育支援、多民族多文化の融合を促進することです。

医学教育のゴールとしては7つの能力の修得を掲げています。(1)医学知識、(2)患者ケア、(3)能動的学習と改善、(4)対人・コミュニケーション、(5)プロフェッショナルリズム、(6)地域・社会に根ざした診療、(7)心身健康維持であり、これら「医のサイエンス面とアート面」を包括した教育が日々行われています。

ハワイ大学医学部は、Problem-Based Learning (問題基盤型学習) を含めた少人数グループでの能動的学習、シミュレーション・バーチャル教育、コミュニティサービスなど、特徴ある教育方式を確立しています。また、医学教育評価認定機構(LCME)から標準教育提供医学部として現在8年間の更新承認を得ています。さらに、U.S. News & World Reportの本年度のBest Medical Schoolでは、プライマリーケア(内科・家庭医療など)部門において全米のトップ20校に選出されています。国家試験合格率も近年常にトップクラスであり、現在約260人の医学生が8つの提携教育病院で実習・研修を行っています。

ミッションの一環として深めてきた、アジア環太平洋の各国・各地域との関係、特に日本との協力支援関係は非常に長くかつ深く、医学部長直属の「国際医学医療オフィス」が中心となって、日本の約20の医学部をはじめ、沖縄県立中部病院、公益法人地域医療振興協会、一般社団法人 JrSr と提携を結び、ハワイ・日本間の医学生、研修医、医師、その他の医療従事者の交流、特にハワイ大学での実習・研修の受け入れを継続的に行っています。米国の教育研修、優れた医師育成の手法・考え方を各国に提供することを通じて、国際的な医学教育・医療の向上に貢献しています。

今回、ハワイ大学のミッションの流れをくむ発展的な活動として、約2年間にわたり「ハワイ医学教育プログラム」(HMEP)が計画され、2016年度から東海大学医学において本プログラムが導入・開始されることとなりました。

これは医学生の Student Doctor としての診療参加型教育・ジェネラル(総合的医療)を中心とする教育、医のサイエンスと同等にアートを学ぶという米国の典型的な教育方法であり、ECFMG が定める基準に適合したカリキュラムが行われるものです。ハワイ大学では、東海大学でのプログラムをロールモデルとして、HMEP が日本国内に広く浸透すること、日本の医学教育の国際標準化、更に日本の優れた面の海外発信を目指しています。

<ハワイ大学 総長 David Lassner 氏コメント>

This groundbreaking partnership expand the long term relationship between Tokai and the University of Hawaii and marks a major step forward in internationalizing medical education in Japan and Hawaii.

David Lassner

President, University of Hawaii

この画期的なパートナーシップは、東海大学とハワイ大学との間に長期的な関係を拡大し、日本とハワイで医学教育の国際化に大きな一歩を記すものであります。

デビッド ラスナー

ハワイ大学総長

---

<sup>i</sup> HMEP: Hawaii Medical Educational Program ハワイ大学医学部が監修する米国式医学教育プログラム。

<sup>ii</sup> 米国医師免許試験の受験資格を得るための認証機関。

<sup>iii</sup> 2023 年度以降は国際認証を受けている医科大学・医学部の卒業生以外は米国医師免許試験の受験を認めないと発表。

<sup>iv</sup> HCCPP: Hawaii Clinical Clerkship Preparation Program ハワイ大学医学部の臨床実習準備教育プログラム。

<本件に関するお問い合わせ>

東海大学 伊勢原教育計画部事務室 担当：原

TEL：0463-93-1121（代表）